

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587011302	科目番号 / Subject code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動d (企業行動と戦略) / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro, 林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学部・歯学部・工学部・環境科学部の2年生以上		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymurata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部本館5階507室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	発展する企業・魅力的な企業はどのような経営を行っているのだろうか。企業を成功に導くためのヒト・モノ・カネ・情報の使い方について考察する。基本的なことを学びつつ、複数の国内企業についてグループでの研究を行う。		
授業到達目標/Course goals	企業に関する基礎的な知識を習得し、特に、戦略的思考ができるようになる。授業で取り上げる企業や、国内企業に関するグループ研究を通じて、発展する企業・魅力ある企業のあり方について理解を深め、起業に関する自分としての意見を持てるようになる。このような学習を通じて、継続的に学び自らを高め変革しようとする態度を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への参加態度 (30%) と期末に課すレポート (70%) により評価する。60%以上が合格となる。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業資料を事前にLACSにアップするので、授業前にその資料に目を通しておくこと。授業中は、その資料に解説を加え、グループでの討論も行う。授業後は、自宅等で、授業中に加えられた解説を記したノートを見ながら、学習内容を復習し、知識の定着を図ること。		
キーワード/Key word	市場・経営資源・経営戦略・起業		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 浅羽茂・須藤実和 『企業戦略を考える』日経文庫1276、日本経済新聞出版社、2013年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	8回以降は必携PCを使う。また、配布資料等は、LACSにアップしていく。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1回	オリエンテーション（授業内容・授業方法・評価方法等）
2回	企業に関する基礎知識(1)〔市場と経営資源〕
3回	企業に関する基礎知識(2)〔経営と会計〕
4回	企業に関する基礎知識(3)〔経営戦略とマーケティング〕
5回	成長市場を探す
6回	競争を考慮する
7回	安定的成長をもくろむ
8回	日本の国内企業について研究する
9回	自社の強みを活かす
10回	学習の場を設ける
11回	競争戦略と連動させる
12回	戦略を構想する
13回	研究発表(1)
14回	研究発表(2)
15回	〔まとめ〕企業経営と起業

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587011703	科目番号 / Subject code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動d (社会制度と経済活動)COC+ / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	張 笑男 / Xiaonan Zhang, 林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	張 笑男 / Xiaonan Zhang		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	張 笑男 / Xiaonan Zhang		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	選択科目: テーマ名: 現代経済と企業活動 カテゴリー名: 多様性と共生 (医歯工環)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	choshonan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	東南アジア研究所310		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義に関する質問等は本講義開講時間後教室にて順次受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	本講義は、企業活動を規律付ける法制度に関する基本的知識を提供する。		
授業到達目標 / Course goals	経済学の基礎知識を学びながら、会社法上の各種ルールの趣旨を理解し、企業の経済活動や時事問題 を会社法の視点から考察できるようになることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	出席や講義中の発言など講義への貢献度 (20%)、講義中に提出するレポート (30%) および定期試 験 (50%) による。なお、欠席が5回を超える者については、成績評価の対象としない。また、遅刻 回数が5回を超える者については、成績評価の対象としないことがある。ただし、やむを得ない事由 による欠席・遅刻については、所定の証明書を提出した場合には、当該欠席・遅刻時数について考 慮することがある。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	未定。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	LACSを通してレポートの提出・管理を予定しているため、パソコン等のLACSに接続及び文字入力 が可能な端末を講義開講教室に持参することが必要。また、講義においては、グループによるディス カッション・報告を実施することがある。		
学生へのメッセージ / Message for students	初回の講義において教科書・参考書について説明する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	企業と各種法規制
第3回	会社の概念と会社法
第4回	会社の種類と分類
第5回	株式会社の基本概念
第6回	会社の設立
第7回	株主と株式(1)
第8回	株主と株式(2)
第9回	中間まとめ(定期試験を含む)
第10回	コーポレートガバナンス総論
第11回	会社の機関(1)
第12回	会社の機関(2)
第13回	会社の資金調達
第14回	組織再編
第15回	企業結合
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587012103	科目番号 / Subject code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動d (経営情報と会計情報) / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部 (方淵キャンパス) 本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17:50-19:00 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのかを行動実験を基にした学説を通じて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	講義中のグループワーク (30%)、期末レポート (60%)、その他 (10%) による評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。		
キーワード/Key word	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	内藤文雄 『会計学エッセンス第2版』 中央経済社, 2015年。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回主席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法 (active listening)、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション 会計とは何か 財務報告と監査の役割
第2回	社会科学としての会計学(1) シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解
第3回	社会科学としての会計学(2) 功利主義哲学と社会科学の関係?マイケルサンデルの問題提起を参考に
第4回	社会科学としての会計学(3) コストベネフィット分析と会計諸問題
第5回	財務報告の国際的動向(1) 財務報告の目的変遷?会計説明責任と投資意思決定支援
第6回	財務報告の国際的動向(2) IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
第7回	会計監査の諸問題(1) 厳格監査と馴合監査 ?ストーリーを使っての問題理解と解決のためのワーク?
第8回	会計監査の諸問題(2) 銀行と監査 ?ストーリーを使っての問題理解と解決のためのワーク
第9回	会計監査の諸問題(3) ベンチャー企業と監査 ?ストーリーを使っての問題理解と解決のためのワーク
第10回	投資意思決定上の諸問題(1) 財務情報と非財務情報 ?グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第11回	投資意思決定上の諸問題(2) 強制開示と任意開示 ?グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第12回	投資意思決定上の諸問題(3) 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造 ?グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第13回	任意言開示意思決定上の諸問題(1) プロプライエタリーコストと開示意思決定 ?グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第14回	任意言開示意思決定上の諸問題(2) 評判マネジメントと開示意思決定 ?グループワークを通じての経営意思決定の体験?
第15回	任意言開示意思決定上の諸問題(3) 財務トレンドと任意開示量の関係 ?グループワークを通じての経営意思決定の体験?
第16回	定期試験